

年 組 名前:

弦5本のバイオリン創作



創作した「クロ
ノス」を演奏す
る野武大誠さん
＝都留市内

QRコード
から動画を見られます



赤池 悠 武田 寛明 森 航平(富士北麓)
飯野 稔平(伏見) 上野原 森 航平(都留)

都留出身・野武さん 豊かな表現可能に

都留市出身のバイオリニスト野武大誠さん(35)らは、弦が5本あるバイオリン「クロノス」を創作した。通常のバイオリンよりも奏でられる音の幅が広く、豊かな表現ができるという。野武さんは、現代のバイオリンの形が完成したのが約400年前。クロノスも400年先に伝えていきたいと普及に意欲を見ている。

〔森航平〕

野武さんは3歳からバイオリンを習い始めた。山梨大で社会教育を専攻して同大学院の修士課程を修了後、奏者として音楽を本格的に学びたいと考え桐朋学園芸術短大に進学。卒業後はバイオリニストとして活動を始めた。

野武さんは「バイオリンは弦が4本だが、1本増えれば表現の幅が広がり、バイオリンの新たな一面が見られるのではないかと考え、5本弦のバイオリンを構想するようになった。

友人の楽器職人と2022年6月から制作。制作費を集めるため、クラウドファンディングを活用し、同年7月までに約240万円を得た。バイオリン本体にそのまま弦を1本足しても音が上手に響かないため、本体の形や音が出る穴を大きくするなど工夫した。弦5本の張力に本体が耐えきれず、本体が折れるといったアクシデントにも見舞われたが、約1年半かけて「世界に一つしかない楽器」を完成させた。

低音の弦を増やしたことで音域は広がったが、演奏法は複雑になった。野武さんは「特性を生かせる曲作りなども手探りの状態が続いている」と話す。これまでにクロノス用に作った曲などを演奏するコンサートを開いて、「評判はいい」という。

「クロノス」は、400年間人々の記憶に残る名器になってほしいとの願いを込め、ギリシャ神話の時間をつかさどる神の名前から命名した。野武さんは「後世に残る楽器になるように、多くの人に演奏を聴いてもらい魅力を知ってほしい」と話している。

(2024年9月3日付 山梨日日新聞 16面)

問1 都留市出身のバイオリニスト野武さんらは、弦が5本あるバイオリンを創作しました。普通のバイオリンの弦は何本ですか。

.....

問2 5本弦のバイオリンの長所と短所を教えてください。

・長所:

・短所:

問3 野武さんは、どのような想いで、バイオリン「クロノス」を創作したのですか。

.....